

2021.11.10 第23回図書館総合展ONLINE_PLUS NIIフォーラム
「学術機関による研究データのキュレーションサービスを考えよう」

趣旨説明

情報・システム研究機構 国立情報学研究所
オープンサイエンス基盤研究センター

南山 泰之

minamiyama@nii.ac.jp

ORCID ID:0000-0002-7280-3342



セッションの目的

- 具体的な取り組み事例をもとに、研究機関によるデータキュレーションのニーズや課題を共有する
- 課題を乗り越えるために必要な要素を議論する

政策的な背景

2021年3月

- 研究データ基盤整備と国際展開ワーキング・グループ第2フェーズ報告書

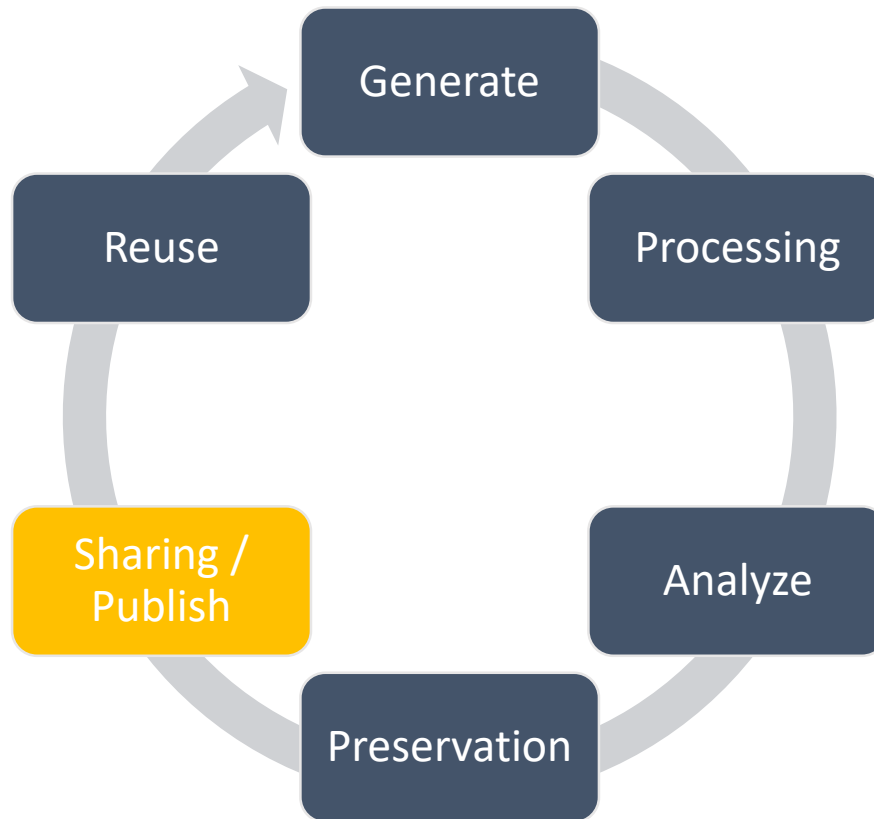
“研究データマネジメント人材には、実験・観測データの体系的なマネジメントやデータキュレーション等の専門的な知見が必要”

“多くの大学で図書館のデジタル転換が行われつつあり、これらの活動と併せて研究データの管理や利活用を行うための専門人材の確保を行うことが必要”

Ref: 研究データ基盤整備と国際展開ワーキング・グループ第2フェーズ報告書（令和3年3月）. 23-24p.

https://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/kokusaiopen/dai2_hokokusho.pdf

データキュレーションとは？



データへの意味のある永続的なアクセスを提供するために、データリポジトリのキュレーターが行う作業と行動

幅広い活動を説明するのに使われることが多く、その用語自体も使用される文脈や環境に応じて異なる意味をもつ

Johnston LR, et al. Data Curation Network: How Do We Compare?
<https://doi.org/10.7191/jeslib.2017.1102>

<https://digital-scholarship.org/digitalakoans/2021/05/18/just-published-research-data-curation-and-management-bibliography/>

機関リポジトリによるデータキュレーション

論文

- ・登録申請
- ・許諾書の取得
- ・著作権の確認
- ・公開可否チェック
- ・PDF変換／カバーページ付与
- ・メタデータ作成
- ・公開前チェック
- ・公開
- ・DOI付与



研究データ

- ・登録申請
- ・許諾書の取得
- ・著作権の確認
- ・公開可否チェック
- ・PDF変換／カバーページ付与
- ・メタデータ作成
- ・公開前チェック
- ・公開
- ・DOI付与

?

議論に向けて

Step 01

研究の現場におけるデータキュレーションとは

Step 02

機関として実施するために必要な体制とは

Step 03

図書館が出来ることは何か

データキュレーションに関するニーズや課題を段階的に把握する

課題を乗り越えるために必要な要素を議論する

セッション構成

時間	タイトル	登壇者
10:30-10:35	趣旨説明	南山泰之（国立情報学研究所 オープンサイエンス基盤研究センター）
10:35-10:50	オープンサイエンスを推進する研究データの知識化開発研究	小林 紀郎（理化学研究所情報統合本部 基盤研究開発部門 データ知識化開発ユニット）
10:50-11:05	東京工業大学「研究データポリシー，実施方針」の策定の爆走の375日の舞台裏を語る。図書館総合展2021ver.	茂出木 理子（東京工業大学）
11:05-11:20	ポリシーのその先へ！～名古屋大学附属図書館の取り組み～	田中 幸恵（名古屋大学生命農学図書館）
11:20-12:00	ディスカッション	全員
12:00	クロージング	